

**授業概要**

上流階級の白人の男性たちの対極におかれてきた黒人、女性、労働者など、文学に描かれたマイノリティの姿について考察してゆく。アメリカの作家エドガー・アラン・ポーを中心に、その他にも歴史的名作と評価される英語圏のゴシック小説を読み、分析することで、英語圏の作家における性差・人種観などを理解できるように講義する。

**授業計画**

第 1 回	イントロダクションー文学とは何か
第 2 回	『ホーンテッド・マンション』はなぜマンションなのかーディズニーランドの幽霊屋敷
第 3 回	文学の現代性ー現代におけるエドガー・アラン・ポー
第 4 回	現代に蘇る文学ーハーマン・メルヴィル『白鯨』と『ジョーズ』
第 5 回	エドガー・アラン・ポー論(1)ー「黒猫」を読む
第 6 回	エドガー・アラン・ポー論(2)ー「モルグ街の殺人」から『キングコング』へ
第 7 回	ロリータの系譜ーポー、キャロル、ナボコフ
第 8 回	南北戦争前の文学ーナサニエル・ホーソーン『緋文字』を読む
第 9 回	文学における人造人間ー『フランケンシュタイン』から『ブレードランナー』へ
第 10 回	ヘミングウェイの「殺人者たち」と『ルパン三世』ーなぜ男は逃げなかったのか
第 11 回	H・P・ラヴクラフト論(1)ークトゥルフ神話における他者
第 12 回	H・P・ラヴクラフト論(2)ー優生学と人種差別
第 13 回	文学における疫病ーブラム・ストーカーの『ドラキュラ』
第 14 回	読書終焉の世界ーレイ・ブラッドベリ『華氏 416 度』
第 15 回	現代ベストセラー作家たちースティーヴン・キング『It』『スタンドバイミー』
第 16 回	定期試験

**到達目標**

- ・学生が英語圏文学における他者を考察することで、これらの作品が書かれた時代の特徴、地域社会の文化や歴史を理解することができる。
- ・学生が文学を歴史の反映として学習し、異文化理解や中学校及び高等学校における外国語科の授業のための教養の土台を養成することができる。

**履修上の注意**

楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。授業時にはコメントペーパーを配布するので、授業の終わりにできるだけ多く質問や感想や意見を書いて提出すること。資料を多く配布するのでファイルを持参のこと。普段から関心をもって本を読むように心がけてもらいたい。

**予習・復習**

前もって配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

**評価方法**

学期末試験（50%）、提出物（レポート）およびコメントペーパー（50%）などの総合評価。

**テキスト**

毎回授業で資料を配布する。また参考文献については適宜指定する。